

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】平成22年11月4日(2010.11.4)

【公表番号】特表2010-503687(P2010-503687A)

【公表日】平成22年2月4日(2010.2.4)

【年通号数】公開・登録公報2010-005

【出願番号】特願2009-528336(P2009-528336)

【国際特許分類】

C 0 7 K	7/08	(2006.01)
C 0 7 K	14/00	(2006.01)
C 1 2 Q	1/02	(2006.01)
A 6 1 K	38/46	(2006.01)
A 6 1 P	43/00	(2006.01)
A 6 1 P	35/00	(2006.01)
A 6 1 P	9/00	(2006.01)
A 6 1 P	25/00	(2006.01)
A 6 1 P	35/02	(2006.01)
A 6 1 P	1/16	(2006.01)
A 6 1 P	13/12	(2006.01)
A 6 1 P	11/00	(2006.01)
A 6 1 P	27/02	(2006.01)
A 6 1 P	11/06	(2006.01)
A 6 1 P	9/10	(2006.01)
A 6 1 P	29/00	(2006.01)
A 6 1 P	19/02	(2006.01)
A 6 1 P	17/12	(2006.01)
A 6 1 P	37/02	(2006.01)
A 6 1 P	25/08	(2006.01)
A 6 1 P	17/06	(2006.01)

【F I】

C 0 7 K	7/08	Z N A
C 0 7 K	14/00	
C 1 2 Q	1/02	
A 6 1 K	37/54	
A 6 1 P	43/00	1 1 1
A 6 1 P	35/00	
A 6 1 P	9/00	
A 6 1 P	25/00	
A 6 1 P	35/02	
A 6 1 P	1/16	
A 6 1 P	13/12	
A 6 1 P	11/00	
A 6 1 P	27/02	
A 6 1 P	11/06	
A 6 1 P	9/10	1 0 1
A 6 1 P	29/00	1 0 1
A 6 1 P	19/02	
A 6 1 P	17/12	

A 6 1 P 37/02
A 6 1 P 25/08
A 6 1 P 17/06

【手続補正書】

【提出日】平成22年9月13日(2010.9.13)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

2以上のペプチドを含む単離されたEphB受容体結合化合物であって、各々のペプチドはEphB受容体と選択的に結合し、前記2以上のペプチドのそれぞれが5～50アミノ酸残基の長さを有する、前記単離されたEphB受容体結合化合物。

【請求項2】

約100nM以下の解離定数(Kd)を有する、請求項1記載の単離されたEphB受容体結合化合物。

【請求項3】

EphB受容体のエフリン-Bリガンドとの結合を約100nM以下のIC₅₀で阻害する、請求項1又は2に記載の単離されたEphB受容体結合化合物。

【請求項4】

さらに、ポリエチレングリコール(PEG)リンカー、異種ポリペプチド、ヒトIgGのFc領域若しくはその断片、放射性同位体、検出可能な標識又はペプチドミメチックを含む、請求項1～3のいずれか1項に記載の単離されたEphB受容体結合化合物。

【請求項5】

2以上のペプチドの少なくとも1つが配列番号1～75のいずれかのアミノ酸を含む、請求項1～4のいずれか1項に記載の単離されたEphB受容体結合化合物。

【請求項6】

EphB受容体がマウスEphB受容体またはヒトEphB受容体である、請求項1～5のいずれか1項に記載の単離されたEphB受容体結合化合物。

【請求項7】

EphB受容体がEphB1、EphB2、EphB3、Eph4、EphB5、またはEphB6である、請求項1～6のいずれか1項に記載の単離されたEphB受容体結合化合物。

【請求項8】

2以上のペプチドの少なくとも1つが配列番号39、配列番号40、または配列番号41のアミノ酸配列を含む、請求項5記載の単離されたEphB受容体結合化合物。

【請求項9】

請求項1～8のいずれか1項に記載の単離されたEphB受容体結合化合物および製薬上の担体を含む化合物。

【請求項10】

新生物疾患、血管疾患、または神経障害を治療または予防するための医薬の製造における、請求項1～8のいずれか1項に記載の化合物の使用。

【請求項11】

新生物疾患が癌である、請求項10記載の使用。

【請求項12】

EphB受容体発現細胞の数を減じるin vitroの方法であって、前記細胞を請求項1～8のいずれか1項に記載の化合物と接触させることを含む方法。

【請求項13】

EphB受容体発現細胞の増殖を抑制する*in vitro*の方法であって、前記細胞を請求項1～8のいずれか1項に記載の化合物と接触させることを含む方法。

【請求項1～4】

サンプル中のEphB受容体の存在を検出する方法であって、サンプルを請求項1～8のいずれか1項に記載の化合物と接触させ、該化合物の存在を検出することを含む方法。